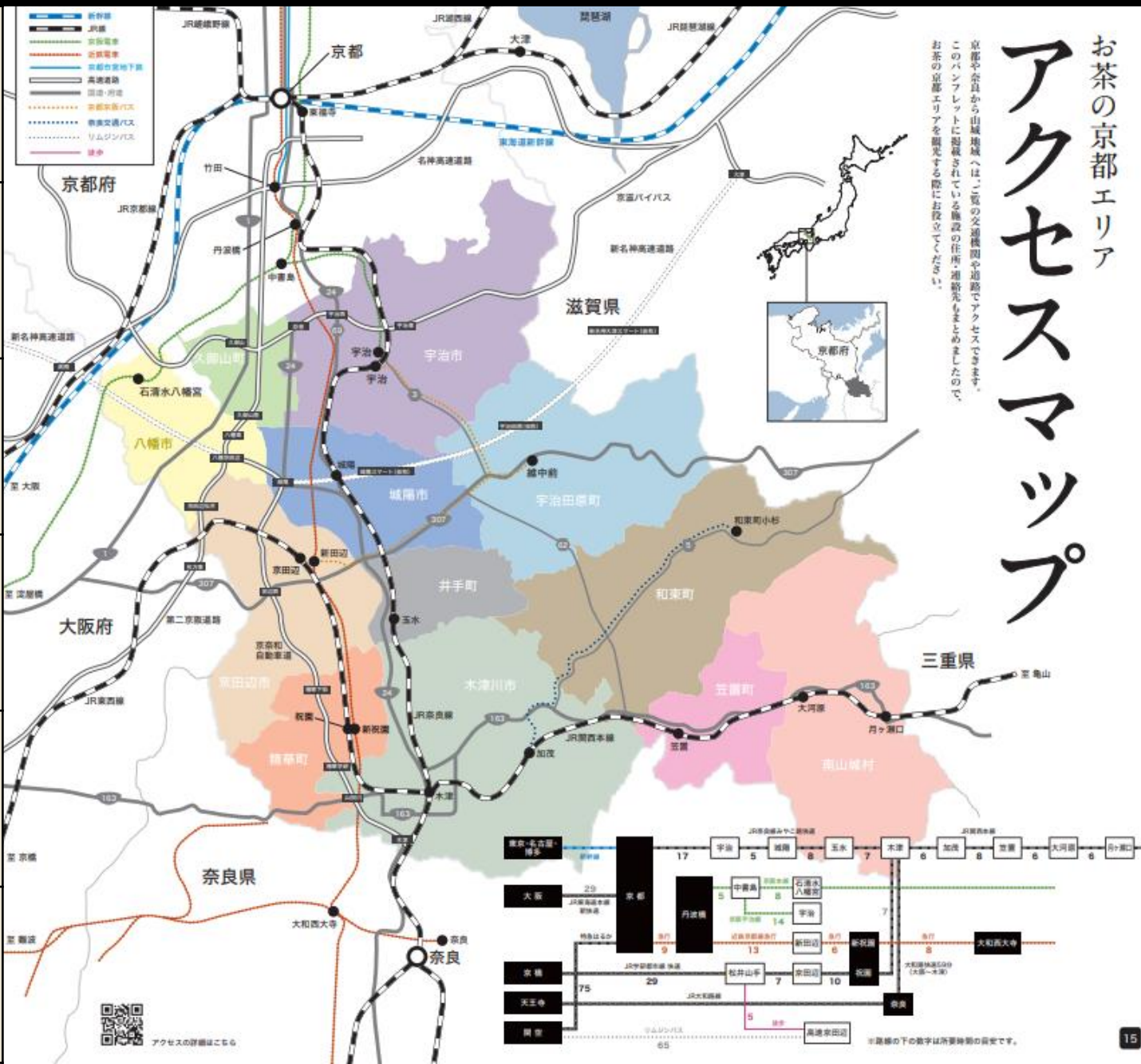




お茶の京都の魅力紹介



宇治市
城陽市
八幡市
京田辺市
木津川市
久御山町



井手町
宇治田原町
笠置町
和束町
精華町
南山城村



なぜ、山城地域は「お茶の京都」なのか

3

山城地域は、「日本茶のふるさと」。中国からお茶が日本に伝えられて以来、日本茶を代表する「抹茶」「煎茶」「玉露」の栽培・製法を開発するとともに、日本を代表する喫茶文化を生み、支え、育んできました。

生産



和束町の茶畑
(京都府景観資産登録第1号)

流通



木津川市上粕の茶問屋街

喫茶



「対鳳庵」(宇治市)



宇治茶伝道師による海外での
宇治茶の淹れ方実演
(イギリス・エディンバラ市)

伝える



かぶせ茶、玉露、てん茶
(抹茶原料)を生産する
伝統的な被覆方法(よしず
と、わらの本ず被覆)

子どもの頃からお茶に親しむ
「お茶育」を推進するため、
小学生(3～6年生)を対象
に、キッズ「茶ムリエ」検定
を実施



茶畑、茶工場、茶師・茶問屋、茶室など茶の生産、流通、喫茶に
わたる日本茶文化の変遷を示す代表的な資産が集積しています。



日本茶のふるさと(日本遺産登録「日本茶800年の歴史散歩」)

日本独自の緑茶製法を編み出し、喫茶文化、茶の湯文化を支えてきた。

京都府南部の山城地域は、中国から渡来したお茶を育み、長い歴史の中で、茶生産の技術的な革新により日本独特の「**抹茶**」「**煎茶**」「**玉露**」を生み出した「日本茶のふるさと」であり、約800年間にわたりお茶の生産を行ってきました。

「宇治茶の文化的景観」は、緑茶としての独自の発展とさまざまな喫茶文化を生み出した歴史を物語る無二の景観で、現在まで脈々と受け継がれています。





宇治茶の文化的景観 鳥瞰図

5



世界遺産から町家カフェまで見どころ満載

本場の宇治茶や抹茶スイーツを味わえるお店はもちろん、平等院や宇治上神社といった世界文化遺産や、最近では新しいカフェなども増え、見どころいっぱいの宇治市。宇治川の桜や、4月のツツジ、6月のアジサイ、7月のハスなど四季折々の花が楽しめる三室戸寺、紅葉のトンネルが美しい琴坂など、季節を通しての楽しみも多い





城陽市



7

最高峰のてん茶・抹茶のまち城陽

奈良と京都のほぼ中間に位置する城陽市。また、日本一のてん茶の産地で、薫風が香る5月から6月のお茶のシーズンには、木津川沿いの浜茶を巡るサイクリングが楽しめる。2月下旬から3月中旬は、京都府最大の梅林で行われる「青谷梅林梅まつり」が開催されるほど梅の産地である。特産品の城白州（梅の品種）を使った3年間熟成させてた濃厚な味わいの梅酒とエリアで唯一の日本酒を醸造する城陽酒造をぜひ訪れてみて。



青谷梅林



梅



城陽



LOGOS LAND



イチジク





八幡市



8

石清水八幡宮と茶文化薫る門前のまち

静寂さと澄んだ空気が漂う、山の頂にある石清水八幡宮はそのおごそかな佇まいで訪れる人を魅了し続けている名刹。さらに八幡市で忘れてはいけないのが、宇治川と木津川の合流地点に位置する背割堤（せわりてい）で、春になると現れる約1.4kmの桜の花のトンネルは圧巻。流れ橋や竹と苔の美しい松花堂庭園、エジソンが発明に使った竹など、知的好奇心もくすぐられる。



国宝 石清水八幡宮



流れ橋



松花堂庭園、美術館



背割堤



松花堂弁当





木津川市



9

史跡や石仏好きにはたまらないまち

木津川に代表する豊かな自然や里山、恭仁宮跡をはじめ、京都府内で京都市に次ぐ数の国指定文化財を有するロマンあふれる木津川市。 四季折々の花々や自然の風景を楽しみながら、人混みにあふれることなく、寺院や石仏を地元ガイドがプライベートでご案内いたします。



国宝 浄瑠璃寺



国宝 海住山寺



岩船寺



上狛茶問屋街



京田辺市



穏やかな景色に溶け込む由緒正しいスポット

一休さんの寺として親しまれる酬恩庵一休寺に、国宝の十一面観音像を安置する大御堂観音寺など、ゆっくりと拝観したい神社仏閣がある京田辺市。紅葉や菜の花など季節ごとに美しい景観が楽しめる。また「普賢寺ふれあいの駅」では、地元の新鮮野菜やお茶、加工品を購入したり、併設の農カフェで市の特産品・玉露をいただくこともできる。



酬恩庵 一休寺



大御堂観音寺



茶園風景



菜の花畑



お茶手もみ体験



普賢寺ふれあいの駅



久御山町



11

美しい景観、農作物、工場見学まで多彩な町

山城盆地の中央部にある久御山町。日本遺産に認定された佐山浜台の「浜茶」や木津川の流れ橋など、美しい景観で知られる。一方、見た目にも大迫力の久御山ジャンクションが有名で、交通結節点として便利な場所でもある。地元の特産品が買える「まちの駅 クロスピアくみやま」やコカ・コーラの工場見学などの見どころも。



茶園風景



流れ橋



イチゴ狩り



道の駅
クロスピヤくみやま
レンタサイクル





井手町



12

自然遊びを満喫! ふるさとの風景に癒される

趣ある家並みと棚田や果樹園の田園風景、日本らしい里山の自然が広がる。春には桜や山吹、夏にはホタル、秋にはイモ堀りやミカン・柿等の味覚狩りが楽しめるほか、史跡めぐりやハイキングコースもある。また、まちづくりセンター椿坂では、井手町産のほうじ茶をいただきながら、くつろぎのひと時を過ごせる。



山背古道



龍王の滝



大正池



玉川



匠キャンプフィールド



万灯呂山展望台



大正池グリーンパーク



宇治田原町



13

日本緑茶のふるさと、心やすらぐハートのまち

「日本緑茶発祥の地」宇治田原町は、江戸時代に「永谷宗円」が現代の緑茶製法の礎となる青製煎茶製法を開発したまち。今も茶生産が盛んで、まちのあちこちに茶文化が息づいている。お茶屋さんや洋菓子店、レストランなどでお茶グルメを堪能できるほか、茶摘みや茶香服、農家民宿、お寺でヨガなど体験プログラムも豊富。町の形と同じハート形の展望台やお寺の窓などを町中で探してみて。



茶畑風景



宗円交流庵やんたん



西ノ山展望広場



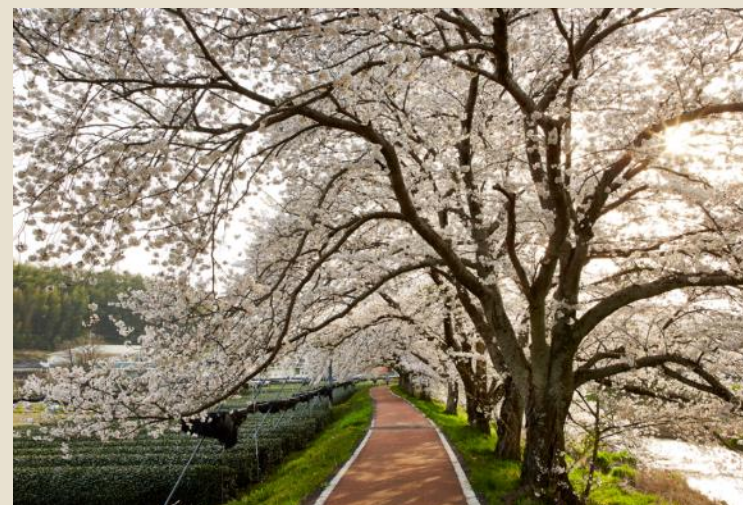
正寿院



永谷宗円生家



湯屋谷地区街並み





笠置町



14

神秘的なムードが漂う笠置山がシンボル

京都府の最南端、相楽郡の東部の町。国の史跡および名勝に指定されている笠置山を中心に、地形全体が渓谷になっており、いたるところに奇岩や怪石が見られる。笠置山内には、磨崖仏の巨大な弥勒仏を本尊とする笠置寺も鎮座。木津川にかかる笠置大橋のすぐ横には、キャンプ場があり、カヌーなどアウトドアアクティビティが楽しめ、ジビエ料理が自慢のレストランもあるのでぜひ試してみてください！



木津川風景



笠置町キャンプ場



笠置寺



笠置山自然公園



木津川カヌー体験



ボルダリング



和東町



15

茶をはぐくみ暮らす生業の地

宇治茶の主産地・和東町。空にまで届くかのような「石寺の茶畑」景観が有名で、町全体に広がる茶畑を見ながらのハイキングやサイクリング、お茶摘み体験などが人気。「和東茶カフェ」では、茶農家おすすめのお茶やスイーツが楽しめる。安積親王陵墓や八坂神社の大杉は、パワースポットとしても注目されている。



石寺茶畑風景



グリーンスローモビリティ(愛称グーチャモ)での茶畑周遊ツアー



古民家の宿



茶摘み体験



精華町



16

有名店から大型施設まで、お楽しみ満載

大阪市や京都市、奈良市などへのアクセスが良く、日本の里の風景をテーマにした「けいはんな記念公園」では壮大な日本庭園と枯山水づくりが楽しめる。日本国内の出版物を収集・保管する「国立国会図書館 関西館」といった大型施設も特徴的。春はイチゴ狩りスポットとしてファミリー 層にもおすすめ。



けいはんな記念公園



枯山水体験



けいはんなプラザホテル



いちご狩り体験



南山城村



17

移住者も増加中の京都府唯一の村

宇治茶、煎茶の名産地である南山城村。三重県、滋賀県、奈良県に隣接しており、移住者も年々増加中。標高500mの高原にある「童仙房」という集落では、農家民宿で田舎暮らしを体験できる。桜の名所でもある高山ダムや絶品の抹茶ソフトクリームを含め地元の名産品が買える「道の駅みなみやましろ」はぜひ立ち寄りたいスポット。



村の風景



恋志谷神社



恋路橋



フェアフィールド・バイマリオット京都みなみやましろ



道の駅 お茶の京都
みなみやましろ村